

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		駅周辺維持整備事業			担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44321
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市駅周辺都市基盤整備基金条例			
	小項目	2	公共交通の維持確保と交通安全の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		駅周辺整備を進めることにより、交通結節点としての鉄道駅の機能向上を図る。								
目的 ※何のために		駅利用者の円滑な交通の確保								
対象 ※誰・何を対象に		誰：駅利用者								
手段 ※どのように		都市基盤整備の推進								
成果 ※何を求めるか		鉄道駅の機能向上								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	駅周辺都市基盤整備基金積立金	1,104,900
本事業の 主な業務		・基金積立							・	
		・駅周辺整備に関する企画調整							・	
		・駐車場・路外駐車場に関する総合調整							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	駅周辺都市基盤整備基金積立金	
事業費	予算（現額）	807,000	523,000	603,000	1,105,000	1,051,000	
	決算額	806,977	501,622	602,400	1,104,900	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	806,977	501,622	602,400	1,051,000	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	0.40	0.40	0.32	0.40	0.29	
	人件費相当試算※	3,147,823	3,204,066	2,631,118	3,390,838	2,554,462	
総事業費試算		3,954,800	3,705,688	3,233,518	4,495,738	3,605,462	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	駅周辺整備件数	目標値	件						
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		※H 2 6に深谷駅南口スロープ設置工事など行っている。						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	令和7年度についても深谷市内の駅周辺において、整備を要する事業が発生しなかった。今後も駅利用者の要望等から必要性を見極め、必要に応じて事業展開を検討していく。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和7年度についても深谷市内の駅周辺において、整備を要する事業が発生しなかった。今後も駅利用者の要望等から必要性を見極め、必要に応じて事業展開を検討していく。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	本事業については、効率的且つ効果的な駅周辺整備を行うため、基金を活用し、実施時期及びその内容について検討しているものである。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽